

## 山梨市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメントについて

令和4年12月20日から令和5年1月17日までの間「山梨市地域公共交通計画(案)」について市民の皆様からの意見を募集いたしました。ご意見の概要と市の考え方について、次のとおりまとめましたのでご報告いたします。貴重なご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

No.	ご意見の概要	市の考え方	計画修正
1	計画期間中の事業実施とスケジュール 計画目標と具体的事業内容のスケジュールが、ほぼ全部、5年を通して、検討・協議 調整・実施となっている。どれも同じスケジュールのため、市がどれを優先的に取り組むのか明確でない。	計画目標1 事業1-1「市民バス（定時定路線型）の再編」、及び、 計画目標2 事業2-1「デマンド型交通の導入検討」を中心に、 並行して関連業務に取り組んでまいります。 市民バスに関しては、利用者の利便性の向上を図るため3路線全てを見直し、運行ルートや時間等の変更、デマンド型交通を新たに導入するなど、定時定路線型ではカバーできなかったニーズへの対応に取り組んでまいります。	有り
2	市民バスの利用促進について アンケート等の分析より、自宅から市民バスのバス停までの距離が利用を拒む理由の1つになっていると思う。山梨市駅や山梨市役所周辺、国道沿いを除き、自由乗り降り区間を設定することもよいかと思う。	計画目標1 事業1-1「市民バス（定時定路線型）の再編」において、必要に応じてバス停の位置について検討いたします。これに合わせ、自由乗降についても検討いたします。	無し
3	三富地域の通勤、通学者の利用について検討してほしい。午後6時以降の利用検討、三富地域の方は乗車していない。 観光シーズンの利用状況を検討する必要があると思う。	計画目標1 事業1-1「市民バス（定時定路線型）の再編」において、三富地域内を運行しております西沢渓谷線について、通勤、通学を目的とした市民の利用実態、また、観光来訪者のニーズを考慮する中で、より利便性の高い公共交通へと再編いたします。	無し
4	西沢渓谷路線のバスの中（小）型化や電気バス導入を検討してほしい。	計画目標1 事業1-1「市民バス（定時定路線型）の再編」において、車両サイズ等も検討いたします。	無し

5	<p>関西都市圏に住んでおりましたので、通勤は公共交通を利用するのが当たり前でしたが、地方ではマイカーに頼っており、バス等を利用するので高齢者という考えが強いと思います。街づくりが自家用車利用を見越したスタイルになりがちであり、結果的にマイカーの利便性を手放せなくなり将来の利用者は限られてしまうこととなります。</p> <p>同じ時間帯に同じ場所に移動する人を調査し、どういうルートにすればマイカー通勤から公共交通機関に利用の転換をしてもらえるか考えるべきだと思います。</p> <p>立ち寄る場所をつなげて乗り換えも可能であれば利用しやすくなるかと思っています。</p>	<p>マイカー依存が高い地方都市では、急激な少子高齢化や人口減少が進む中、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる、コンパクトシティの形成を目指す必要があります。</p> <p>市では、このコンパクトシティと共に、各地域の拠点を地域公共交通によるネットワークで結ぶコンパクトシティプラスネットワークを推進しております。</p> <p>マイカー依存からの転換促進に向け、地域公共交通の利便性の向上に取り組んでまいります。</p> <p>運行方法等に具体的な取り組みに関しましては、多くの市民の皆様がご利用いただけるよう検討し、さらに、ヒアリングやアンケート等のニーズ調査を行うことで、最適な運行へと改善を進めてまいります。</p>	無し
6	<p>1日共通乗車券による観光客の利便性の向上</p> <p>山梨市駅前観光案内所の当番を担う、山梨市ボランティア観光ガイドの一員として、笛吹川フルーツ公園を目指す観光客に、市民バスを紹介するが、午前午後各1便では、たとえ1日共通乗車券を導入したとしても、市民の生活バスとして運行している現状、便数、時間帯が観光客のニーズにほとんどマッチングしていないため、お得感、便利さが感じられないと思う。</p>	<p>計画目標1 事業1-1「市民バス(定時定路線型)の再編」、及び、計画目標2 事業2-1「デマンド型交通の導入」において現行の市民バスの再編とデマンド型交通の導入を予定しております。</p> <p>運行時間内に予約に応じて自由に利用が可能なデマンド型交通の利用が観光来訪者等も可能となるよう導入検討を行い、観光客の公共交通の利便性向上を図ってまいります。</p> <p>さらに、利用促進のため、複数の公共交通を自由にご利用いただけるようなサービスを研究することで、更なる利便性の向上を図ってまいります。</p>	無し
7	<p>サブスクなど一定の費用を払えばどの路線も乗れるなどの便宜を図らないと限られた路線しか使えないシステムは利用しづらいと思います。</p>	<p>計画目標1 事業1-3「バス、乗り合いタクシー等の利用しやすい運賃体系の導入」において検討いたします。</p>	無し
8	<p>バス停を増やし、車両を小型化して小回りの利くものにしてほしい。他市が行っているようなデマンドバス方式にしてほしい。ドアツードアで家まで来てくれるような形にしてほしい。</p>	<p>計画目標2 事業2-1「デマンド型交通の導入」において、地域の状況に合った運行形態を検討し、実証運行を行う中で、地域の状況に即した、持続可能な運行形態のデマンド型交通の導入を図ってまいります。</p>	無し

9	デマンドタクシーなどの、家のすぐ近くまで移動を助けてくれる交通機関が欲しいと思っています。	計画目標2 事業2-1「デマンド型交通の導入」において、地域の状況に合った運行形態を検討し、実証運行を行う中で、地域の状況に即した、持続可能な運行形態のデマンド型交通の導入を図ってまいります。	無し
10	運転免許証の返納により、買い物・通院等に困っている人がいる。家族がいても外出に車を出して欲しいとなかなか頼めない。また、タクシーは高額で使えない。 タクシーに補助金をつけてもっと安く乗れるようにしてほしい。	計画目標2 事業2-1「デマンド型交通の導入」及び、計画目標4 事業4-8「交通弱者の公共交通利用促進」において、運転免許返納された方や買い物や通院などで公共交通が必要な人に対し、利用の目的等に応じた支援を検討いたします。	無し
11	交通弱者の公共交通利用促進 現在、県営東山梨ぬくもり団地に居住する高齢者を対象とした「山梨市シルバーハウジング等 外出支援サービス」が試行的に実施されているが、この事業について、計画に明記されていない。この事業を全市的に拡大していくのか、この計画でも取り上げてよいかと思う。	山梨市シルバーハウジング外出支援サービス事業については令和5年度末までの実証事業として実施しています。 今後、計画目標1 事業1-2 「利用者ニーズやビックデータにもとづく運行の改善」を実施するうえで、本事業利用者のニーズも把握するなか、高齢者の移動の利便性向上に努めてまいります。	有り
12	バス停ポールの共同化。市民バスの行先表示(路線)のナンバリングはすぐに実現してほしい	バス停のナンバリングや行先表示については市の公共交通の再編と合わせて実施いたします。	無し
13	人の移動だけではなく、物を別途自宅まで届ける手伝いも出来るような仕組みがあるといいと思います。	計画目標5 事業5-1「貨客混載による収支の改善」において検討いたします。	無し
14	非接触決済システムの導入・普及について 市民バス等への交通系ICカードの導入を検討すると同時に、パークアンドライドを推進するために、鉄道利用者の利便性を図るため、市営駐車場精算機への交通系ICカードの導入をすすめるよう望みます。	市民バス等への交通系ICカード導入に関して、利用者にとって最適と思われる決済システムを検討いたします。 また、市営駐車場精算機への交通系ICカードの導入につきましても、「立地適正化計画」に基づき、パークアンドライド等に対応した整備を検討いたします。	無し

15	送迎サービスができる人を地域で探し、講習を受けてもらったうえでボランティアとしてかかわってもらおう仕組み作りを行政や社会福祉協議会が中心になって積極的に進めてほしい。	自家用有償旅客運送につきましては、バス・タクシーがない地域における輸送手段として、必要な安全措置をとったうえで、市町村やNPO 法人等が自家用車を用いて提供する地域が限定された運送サービスになります。今後、検討いたしますデマンド型交通の導入により地域における輸送手段の確保に努めてまいります。	無し
16	<p>県外への通学支援制度について</p> <p>2.6.通勤通学流動（国勢調査）のデータによると、山梨市から県外の学校へ通学する方が156人あるとのこと。山梨県総合計画の公共交通機関に関する記述に、鉄道通学支援制度の見直し・検討を行うとあるが、山梨市においては、その制度を活用した者の県内への就職率が伸び悩んでいることを理由に、その補助制度を廃止している。県が補助金制度を見直したのち、山梨市以外のほとんどの市町がその補助制度を復活している。公共交通機関の利用機会を増やすためにも、通学支援制度は復活することを本計画に明記するべき。</p>	<p>県外への大学等通学支援制度については、人口減少対策として転出抑制を果たすこと等を目的に期限を設けて実証事業として取り組んでまいりました。</p> <p>実証期限としていた令和3年度を迎え、アンケート等の検証の結果、事業効果が少なかったことから当該年度をもって終了しております。</p> <p>ご意見をいただきました「公共交通機関の利用機会を増やす」取り組みとしましては、通学時に利用する電車の発着時間に合わせる等、公共交通の利便性の向上に努めてまいります。</p>	無し
17	通学の学生だけのためのバスを一般の人も利用できるようにし、学校で止めずに牧丘の病院や駅、市役所等公共施設、スーパーなどを循環して欲しい。	本市のスクールバスについては、児童生徒の通学が第一優先であるため、通学ルート以外の循環は、通学に遅延が生じ学業に影響する恐れがあり、また、児童生徒の実情に応じて、各地域を迂回しながら運行するため一般の方の利用には適さないと考えております。さらに、八幡小学校、笛川小学校、笛川中学校の児童生徒が通学利用しているほか、通学運行以外の時間帯には市内すべての小中学校を対象として、校外学習やプールなど授業活動等において利用しているため一般利用は難しいと考えております。	無し

18	<p>足を自由に確保できないのは高齢者だけでなく、子どもたちも同じです。不登校傾向の子どもたちは学びの多様性とか、だれひとり取り残さないという言葉とは裏腹に、保護者の送迎なくしては必要な支援も受けることができません。地域によっては放課後等デイサービスのような福祉サービスも送迎困難という理由で使えません。部活の送迎も教育支援センターへの登校も親頼みとなっています。困窮家庭、ひとり親家庭には厳しい現状です。子どもの移動も保障できる体制、また必要な場所に待合と居場所を兼ねた施設の設置を望みます。</p>	<p>市では、安心して子どもを産み育てることのできる社会づくりを推進することを目的とする山梨市ファミリー・サポート・センター事業を行っており、保護者の負担軽減のため、保育施設等への子どもの送迎も行っておりますので、本事業のご利用についてご相談ください。</p> <p>また、子どもたちも円滑な移動が可能となるよう既存の移動手段を活用することを考慮しつつ、デマンド型交通などを含めた今後の事業のなかで、保護者の負担軽減対策も含めた交通ネットワークの構築に取り組んでまいります。</p>	無し
19	<p>お金もかかる大変な問題だが、なるべく早く進めてほしい。</p>	<p>適切な財政負担のもと、速やかな事業執行に努めてまいります。</p>	無し
20	<p>市議会議員が本議会・委員会に出席する日は、市民バスを積極的に利用してはどうか。</p>	<p>山梨市議会議員の議会等への出席に際し、市民バスの積極的な利用に関しましては、関係局と共有させていただきます。</p>	無し

このほか、市道や農業等、山梨市の行政運営に関し寄せられましたご意見に関しましては関係課と共有させていただきます。